

ひとのえん

WORKS 2018



内と外の
自然

多様性と
共生

風土と
FOOD

夢中と
のんびり

数値化
できないこと

相対評価と
絶対評価

ラブです

supported by



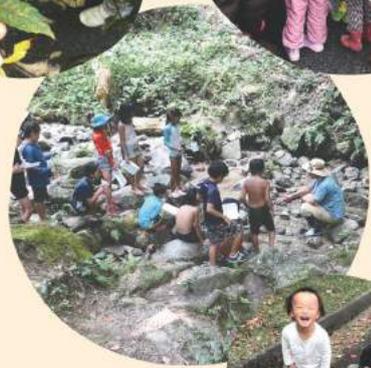
山AM助成

独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業

NPO ひとのえん

東日本大震災後に年齢や性別その他全ての境界を超えた「あそび場まなび場アートの間」として設立された団体です。

子どもたちと大人たちが共に学び育ちながら「持続可能な社会」の小さなモデルを創るため日々の活動を重ねています。



ひとのえん 2018年の活動

▼WAM助成でスタートできました！

こども達と！

01

子どもから大人までどなたでも参加可能な、自然と音楽に親しむ場

もりのえん・やまのえん

保護者のみなさんと！

02

保護者ワークショップ

地域のみなさんと！

03

糸島ネットワーク会議



▼ひとのえんの柱の活動！

Since 2015~

04

自然と遊びとアートに彩られた豊かな放課後の居場所

The JUKU

05

たくましい子ども社会の再生と芸術的進化を目指す出張ワークショップ

The KOUEN & The SESSION



▼ WAM助成でスタートできました！

01 もりのえん・やまのえん

生き物と植物と音楽の園

もりのえん 2018

森で遊び学び奏でよう。
週に一度、油山に集まれ、
ちびっこたちと大人たち。

ネイチャーゲームを楽しんでもよし、
冷たい水に足をひたしてもよし、楽器を持ち寄って
演奏してもよし。毎回、エキスパートによる森の
ガイドもありました。小さい子たちが歌い奏でる
自由な音楽にも、心からの感動がありました。

2018年の活動

開催日	週1回
場所	油山市民の森「自然観察センター」
対象	未就学児以上(保護者同伴)

*2019年の活動は月2回を予定しています。
詳細についてはお問い合わせください。



参加された保護者の方からの声

■ お子さんが参加してよかった点

- ・ のびのびと自然に触れることができた
- ・ 森と大人たちの温かい覆いの中で、
よりその子らしく過ごせている気がしました。
- ・ 自然の変化を感じられた。ガイドさんの話に興味津々だった。

■ 保護者の方が参加してよかった点

- ・ 癒されました！
- ・ 日常の情報交換と気分転換。
- ・ 自然の中でリフレッシュできた。
子どもと色々な発見を共有できた。

自然と夢中とのんびり学校

やまのえん 2018

小学生の皆さん、
そして大人の皆さんも。

頭や身体の疲れをとりに「やまのえん」に遊びに
来ませんか？

室内で遊んだり、綱渡りをしたり、竹細工をしたり、
山登りに行ったり、秘密基地を作ったり・・・。

できることが無限にある場所です。

そして何より、「みんなでのんびり」を学びました。

2018年の活動

開催日	月2回／第1土曜日 & 第3土曜日
場所	「赤とんぼ村」、「お山の樂校」(糸島)
対象	小学生

*2019年の活動は月1回を予定しています。
詳細についてはお問い合わせください。



参加された保護者の方からの声

- ・ 虫を嫌がっていたが、やまのえんで、見たこともない大きなバッタに
出会い、捕まえ実際に自分の手で持ってみるという体験から「できる」
ということを感じた。できたんだよということを第三者に伝えて
いたり、日常会話の中からも、少し自信ができたなあと感じている。
- ・ 外遊び、火おこし、楽器遊びなど五感を刺激したことが、絵を描く、
作品を作る時などに、新しい発想として出てきていると感じる。今まで

- 知っていることと新しい体験がミックスし、これまでとは違う表現に
なってあらわれていると感じる。
- ・ 学校や家とは違った場所として、安心して自分を出せる場、自分の
選択で自由にできる場、居場所になっていると感じている。
- ・ 学校以外で友達になったお姉ちゃんお兄ちゃんとお会い一緒に遊べ
たということも、とても大きな自信となり、貴重な経験になっている。

02 保護者ワークショップ

「他の保護者との暖かい関わりや講師が提示する新しい切り口に出会い、安心して子育てができるようになること」。

こんな目的を掲げて、毎月講師を招いてワークショップや相談会をおこないました。どの講師も保護者の方々にとても好評でした。一部ご紹介いたします。

参加された保護者の方からの声

- 感情的に怒ってしまうことを悩んでましたが、少しの声かけの違いでも子どもの受け取り方がかわることを改めて感じました。子ども自身のやる気がでる時期を信じて、認めてあげようと思います。
- 普段は気持ちに余裕がないので、こういう時間に考えることがとても大切だと実感しました。
- もっと肩の力を抜いて子育てしていけそうです。また、子育てだけではなく、夫婦関係、仕事など、いろいろなところで役立てられそうです。
- 子どもの未来にフォーカスして言葉かけをしようと思いました。親も子どももお互い磨き合いながら成長していきたいと思いました。

講師紹介

言葉かけで子どもの未来が劇的にかわることをサッカーを通して実践で学んだお話をしてくださった中村氏。



言葉くばりコーチング
中村 邦彦氏
(コラボなみらい相談役)

学習研究所 tolee labにて、コーチング理論、リーダーシップ理論、学習のメカニズムについて学び、デザインされたワークショップの講師、ファシリテーターを務める。また、400名を超える会員が所属する育成年代サッカークラブを運営。得意分野は、その子にあった「言葉くばり」と最高の答えを導く「質問コーチング」。

全盲にも関わらず、見事なヴァイオリン演奏をされ、マイナスをプラスにかえるお話をしてくださった穴澤氏。



全盲ヴァイオリニスト
穴澤 雄介氏

心臓と目に障害を持って生まれ、高校時代にはほぼ視力を失う。筑波大学附属盲学校高等部本科音楽科、同専攻科音楽科を卒業。障害者向け職業訓練施設で学ぶかわら音楽活動を続け、ボランティアで幼稚園、高齢者施設、病院等で演奏を披露しながら演奏家、作曲家としての技量を磨き、NHKラジオをはじめ様々な番組で曲が採用され、その活動はドキュメンタリー番組『生きるを伝える』でも紹介される。

保護者へのメッセージ「情熱は伝わる」



NPO法人 産の森学舎 理事長/小学部校長
大松 康氏

フリースクール 産の森学舎では「もじとかず」「英語」の授業を担当。福岡市出身。高3の夏から1年間、米国ミシシッピ州に留学。慶應義塾大学総合政策学部卒業。2004年公認会計士2次試験合格。娘のアレルギーがきっかけで生き方を問い直し、3年半勤めた監査法人を退社。2008年糸島市に移住。二丈松国の松尾ほのぼの農園で研修後、年末年始は軒つき餅屋も営む。

保護者へのメッセージ「学ぶって楽しい！」



ネイチャーライター/かたつむり見習い
野島 智司氏

東京生まれ。福岡県糸島市在住。東京農業大学・大学院では野生動物学、社会教育学、環境心理学を専攻。著書に『カタツムリの謎』（誠文堂新光社）『マイマイ計画ブック かたつむり生活入門』（ele-king books）など、『季刊のぼろ』連載中。2011年より「こうもりあそびば」という名前の場を作り、子どもが自由に遊べる場として開放している。

03 糸島ネットワーク会議

11月と3月に「連携」「協働」をテーマに、糸島の団体、行政、学校まで呼びかけてネットワーク会議を実施しました。子ども関係の団体や音楽教室、NPO運営もする市議やインターンの学生まで参加し、結果として糸島で初めて開催された画期的な会議となりました。普段よく顔を合わせることもあるメンバーでも活動内容を詳しく話す機会はなく、初回はそれぞれの活動紹介や情報交換、資金面の課題等を熱く語り合いました。（その後、団体間で講師に呼び合うコラボも生まれました）2回目は「強みを活かした協働」をテーマにワークショップを行い、共に取り組める具体的なアクションについて語り合いました。今後、さらなる連携が生まれそうです。

参加
団体

ひとのえん、糸島スポーツクラブ、フリースクール 産の森学舎、フリースクールお山の樂校、わくわく子ども園(保育園)、みつばちおうちえん(保育園)、音楽スタジオ・グリーンコード、糸島市議会議員



▼ ひとのえんの柱となる活動！

04 The JUKU

子どもたちの環境(内なる自然と外の自然)を大切に育むこと。
遊びと学びとアートを通し様々な経験を分かち合うこと。
身に付けた様々なスキルで豊かな子ども社会をリードし、
未来の新しい形の仕事や大人社会へ生かしていくこと。
そんなことを目指している場です。
平日は放課後、週末や長期休みは昼から日が暮れるまで活動しています。

活動の様子はこちらをご覧ください

The JUKU facebook



facebook.com/juku.itoshima/



平日

世界中から集められた身体ひとつあればできる様々な遊びやスポーツや創作を楽しんでいます。国産の木で作られたコマやけん玉といった持続可能性に満ちたアクティビティを時にのんびり、時にとことん突き詰めています。

長期休み

糸島の豊かな自然フィールドで、テーマやスケジュール、他にもリスクマネジメントまでを子どもたちがミーティングでしっかり話し合って実践しています。

春休み・冬休み

山小屋が中心。「竹や木を使った創作」「ナイフ」「火おこし」「ロープワーク」「野草天ぷら」「山全体を使ったケイドロ」「クリスマス会」その他たくさん。

夏休み

糸島各地の海や川にて「海や川のリスクマネジメント」「シュノーケリングから素潜り」「島トリップ」「全てが子どもたちに任せられたキャンプ」その他たくさん。

他にも、糸島の駅伝大会や大宰府のコマ大会に向けて自分たちで練習したり参加したり。何をするにも、自発性とミーティングをいちばん大切にしています。

05 The KOUEN & The SESSION

The KOUEN

「子ども社会の再生」を、保護者の皆さんとじっくりゆっくり丁寧に。数ヶ月から1年かけて、様々な遊びとアートを楽しみ、次第に大人が広場から抜けていき、最終的には子どもだけのたくましい社会が残っている。そんな試みです。

The SESSION

1日でも不定期でも。身体性(様々な遊び・コマ・けん玉など)と音楽性(はじめての人でも弾けるギターやベースや身の回りがある楽器でセッション)に特化したワークショップです。

*また、幼稚園・保育園・小学校で遊びWSや授業も担当しています。



NPO ひとのえん

01. WHY (何のための活動?)

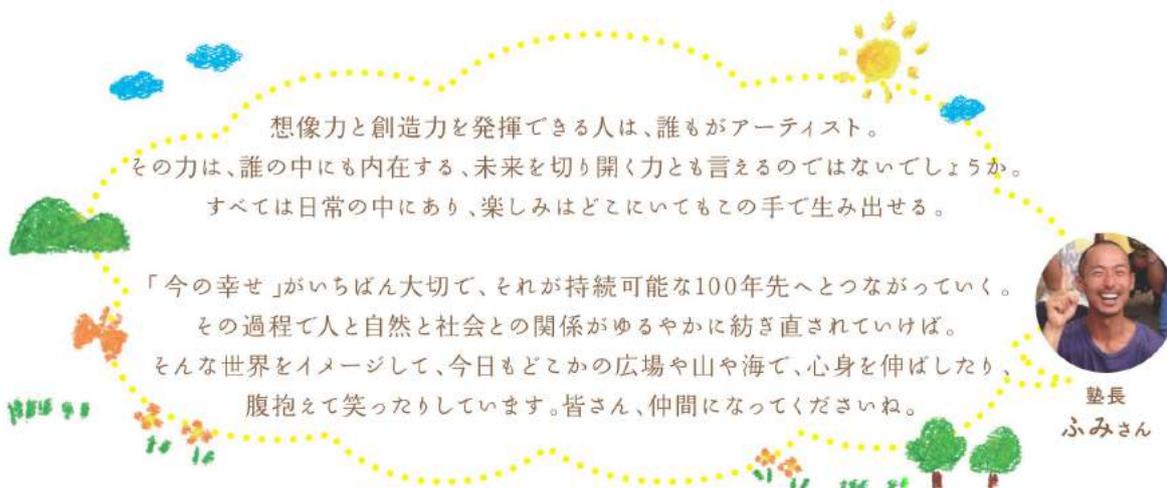
「持続可能な社会」の
小さなモデルを創るため。

02. HOW (それをどうやって実現する?)

豊かな「外側の自然」(いわゆる自然環境)を
大切にしながら、「内側の自然」(自然に沸き上がる想いや衝動)も
相互に大切にできる場を作る。

03. WHAT (どんな活動がある?)

- ・小学生以上対象、豊かな放課後あそび場まなび場アートの場「The JUKU」
- ・子どもと大人どちらも対象、豊かな自然を楽しむ「もりのえん」「やまのえん」
- ・ワイルド&オーガニック&アーティストックな子ども社会を創出するため、
半年から1年かけてアイデアを出し合い、最終的に広場から大人が抜けていく「The KOUEN」
- ・子どもも大人も対象、遊び(けん玉やコマその他を通して)と音楽(身近にある楽器を通して)スキルを複合的に高めていく「The SESSION」



こうした活動は全て、皆様からの暖かい支援で成り立っています。
ご支援は年々増え続けており、子どもたちの活動が豊かに循環し始めました。
今後も「誰もが参加できる場」を創出していくことを目指します。
ぜひ「The JUKU」や「もりのえん」や「やまのえん」に遊びに来てください。
実際に活動をともにすることで「この笑顔をサポートしている」
という想いを持っていただけたら幸いです。

ひとのえん
活動報告など詳しくはこちらをご覧ください



寄付で応援して下さるサポーター募集

01. 月会員 月500円より

「The JUKU」や「もりのえん」「やまのえん」に定期的に参加しながら、子どもたちの未来の職場を共に創っていく皆様です。
月500円より。(引き落としです。)

02. 年サポーター 1回3000円より

遠方でなかなか参加できないけれど「活動をサポートしたい!」
という皆様です。不定期でも一年ごとでも。1回3000円より。
(お振込です。)

サポートいただける方は右記の
メールからご連絡ください

MAIL: hitonoen2013@gmail.com
TEL: 080 4273 2315

お名前・メールアドレスを記入の上、お送りください。
※一週間以内にご返信がない場合はお電話ください。
※月会員の方は、引き落とし用紙をお送りするため
ご住所を記入ください。

振込先

ゆうちょ銀行 17470-29336841 ヒトノエン